

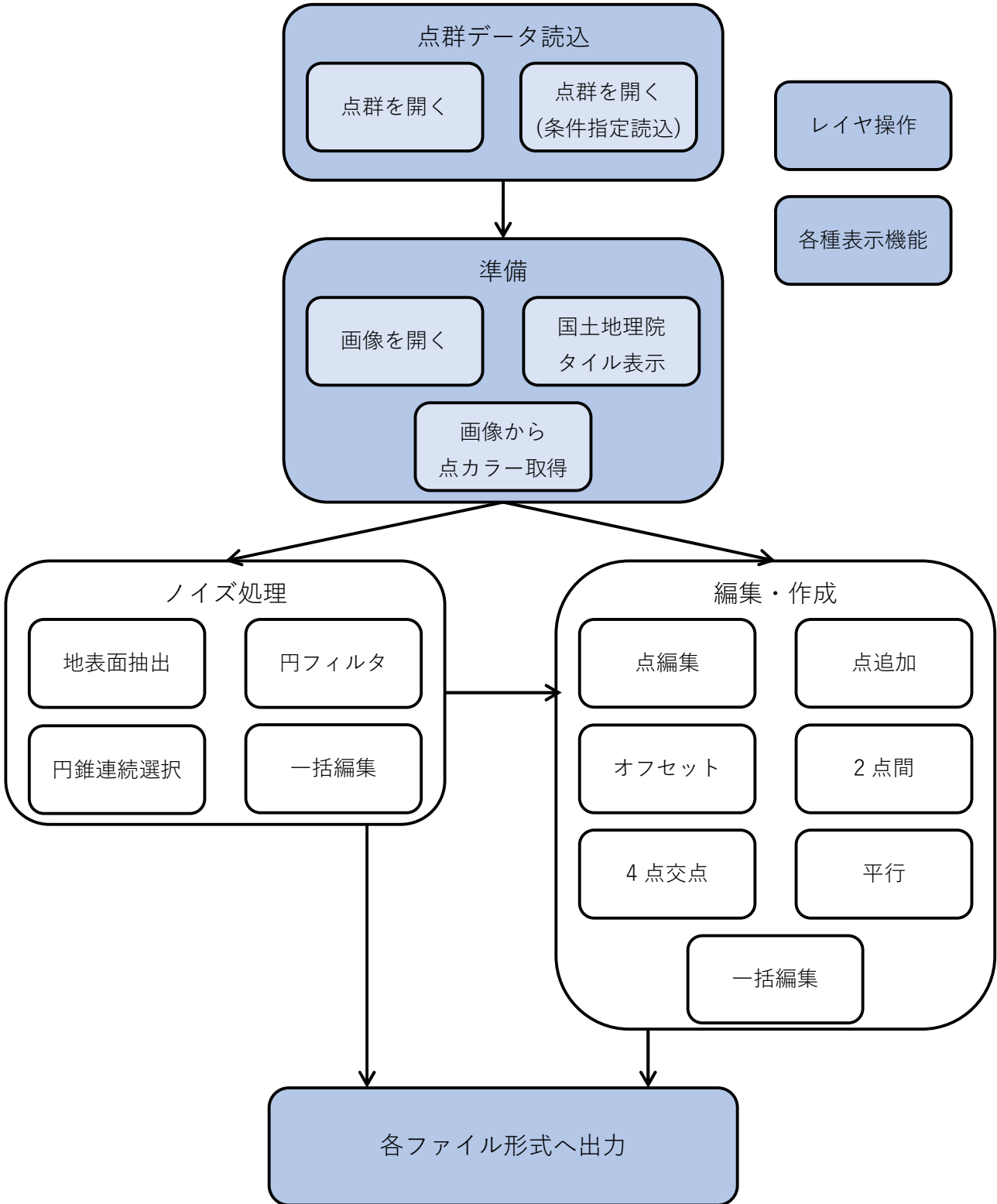


# 操作ガイド 基本操作編

(2026年1月版)

# 作業の主な流れ

基本操作編では、青色の部分について解説します。



## 操作ガイド「基本操作編」目次

p2 基本的な操作の流れ

p7 レイヤ操作について

p9 各種表示機能について

※ 本文中の「クリック」「ダブルクリック」は、特に断りのない限り左ボタンで行います。

# 基本的な操作の流れ

## 1. GeoConnectを起動する



デスクトップの製品ショートカットをダブルクリックし、製品を起動します。

※「ヘルプ」メニュー>「設定」>「ネット認証」で「アプリケーション終了時にライセンスを返却する」にチェックを入れている場合は、起動の前にネットワークライセンス確認が行われます。

作業を開始するためにワークファイルを選択します。



・新規に作業を始める

→「新規ワークファイル」をクリック

・既に作成したワークファイルを呼び出す

→「既存のワークファイルを開く」をクリック

※最近使用したファイル一覧からファイルを選択し「選択したファイルを開く」をクリックしても作業を開始できます。

ワークファイル (.gcwk) とは

作業中のデータを一括して管理する GeoConnect 独自のファイル形式。

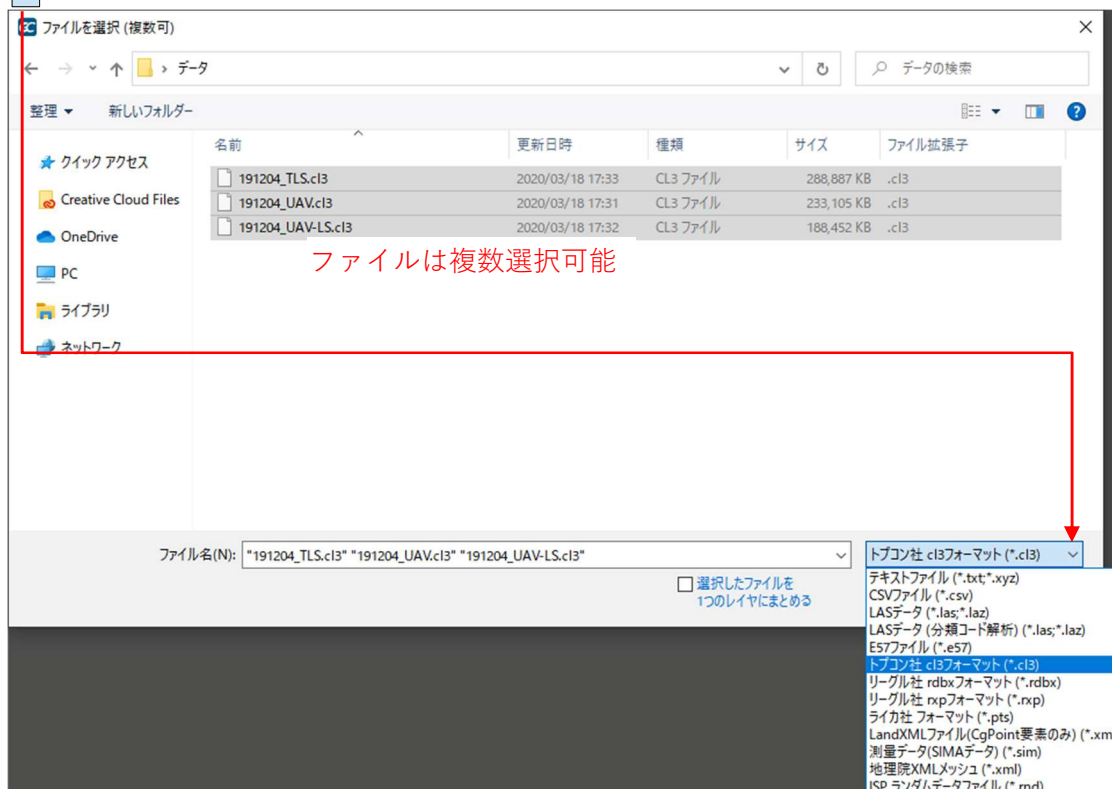
点群・画像・現在の視点の位置情報を含めて一括で保存します。

「ファイル」メニュー>「ワークファイルに名前を付けて保存」から保存します。

## 2. 点群を開く

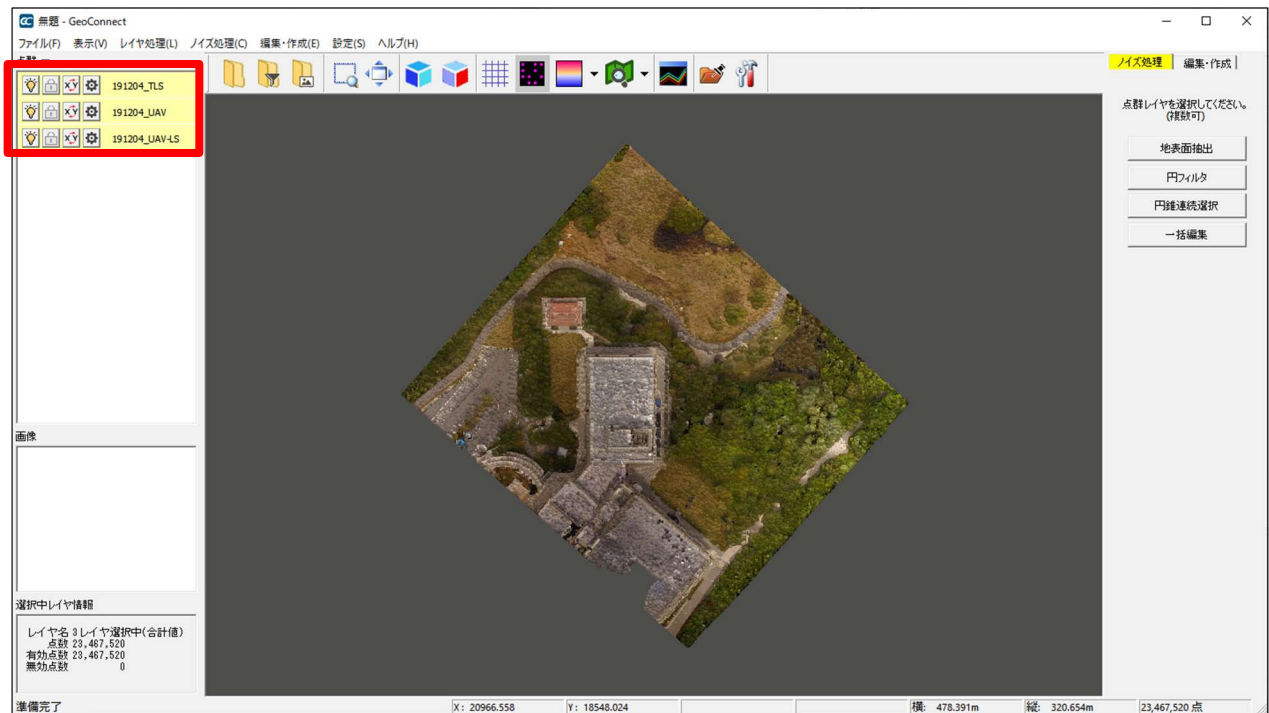


クリックで読み込むデータの形式を指定し、ファイルを選択して開きます。




1 ファイルにつき 1 レイヤが作成されます。


追加でデータを読み込んだ場合もレイヤが作成されます。




### 点群を開く（条件指定読込）とは

 をクリックすると、点数を減らしてファイルの内容を読み込めます。



 ...平面的な格子ごとに点を抽出します。

 ...立体的な格子ごとに点を抽出します。

**判定距離**：格子のサイズを指定します。

**最高標高/中心寄/最低標高を残す**：格子内の読み込む点の条件を選択します。複数の条件を選択することも可能です。

**重心座標作成**：格子内の点から重心座標を作成して読み込みます。

「最高標高/中心寄/最低標高を残す」とは併用できません。

以下の指定を行うと読み込むデータ量を抑制できます。

**最大読込点数**：読み込む点数の上限を指定します。

0 を指定するとファイル内の最後まで読み込みます。

**読み込み開始/停止点**：ファイル内の読み込み範囲を指定します。

**読込率**：指定した割合でファイル内のデータを読み込みます。

### 3. 準備

点群と現地状況の比較が必要な場合には、オルソ画像や図面、国土地理院タイルを表示します。またそれらの画像から点に対して色情報を取得することが可能です。

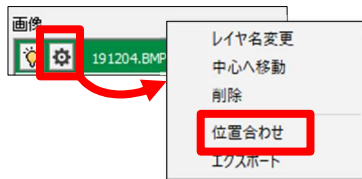
#### ● 画像を開く



読み込めるファイル形式は.bmp、.jpg、.jpeg、.png、.tif、.tiffです。

#### 位置合わせについて

画像ファイルにワールドファイルがない場合は、位置合わせを行います。



次の手順で座標登録を行います。



② 画像上の座標が確定できる地点をクリック

③ ダイアログが変化

④ 座標値を入力します

画面上で移動地点が確認できる場合はマウス指定も可能です。

⑤ 同様に 2 点目を登録します

3 点以上登録し、「確定」をクリック  
! 必ず

#### 点群・画像レイヤの表示について

リストの最上部にあるレイヤが一番手前に表示されます。

点群レイヤ：選択状態のレイヤは明るく表示され、それ以外のレイヤは暗く表示されます。

画像レイヤ：地理院タイルが一番奥に表示されます。

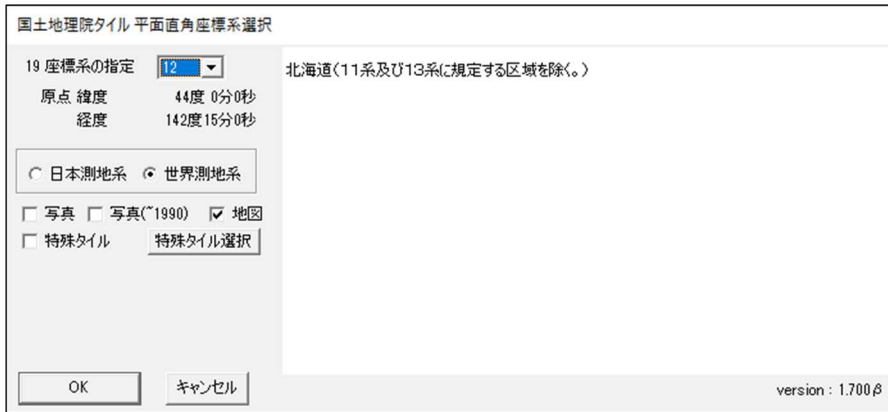
点群・画像とも、透過率の設定が変更できます。

「表示」メニュー>「明度・透過設定」から行ってください。

- 国土地理院タイルを表示する



19 座標系と読み込みむタイルを指定して「OK」をクリックします。

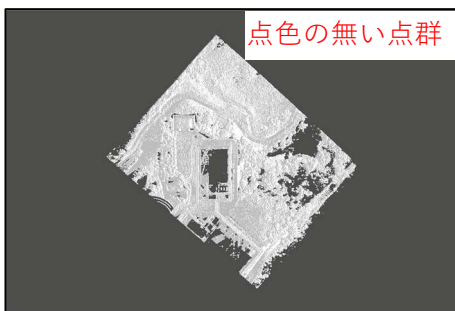
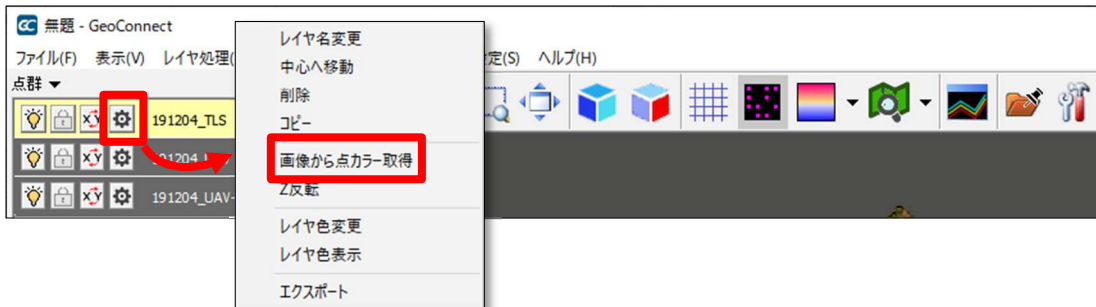


次項目の「画像から点カラー取得」を行う場合には、画像に変換する必要があります。



- 画像から点カラー取得

画像を表示した状態で、次のメニューを選択します。



※点色が付加されたことがわかりやすいように、画像を非表示にしています。

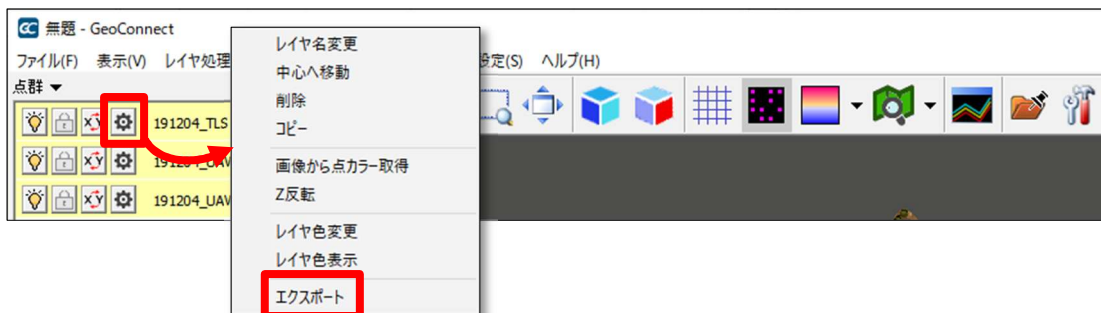
#### 4. 点群処理

ノイズ処理や点の編集・作成を行います。各操作は操作ガイド「ノイズ処理編」「編集・作成編」を参照してください。

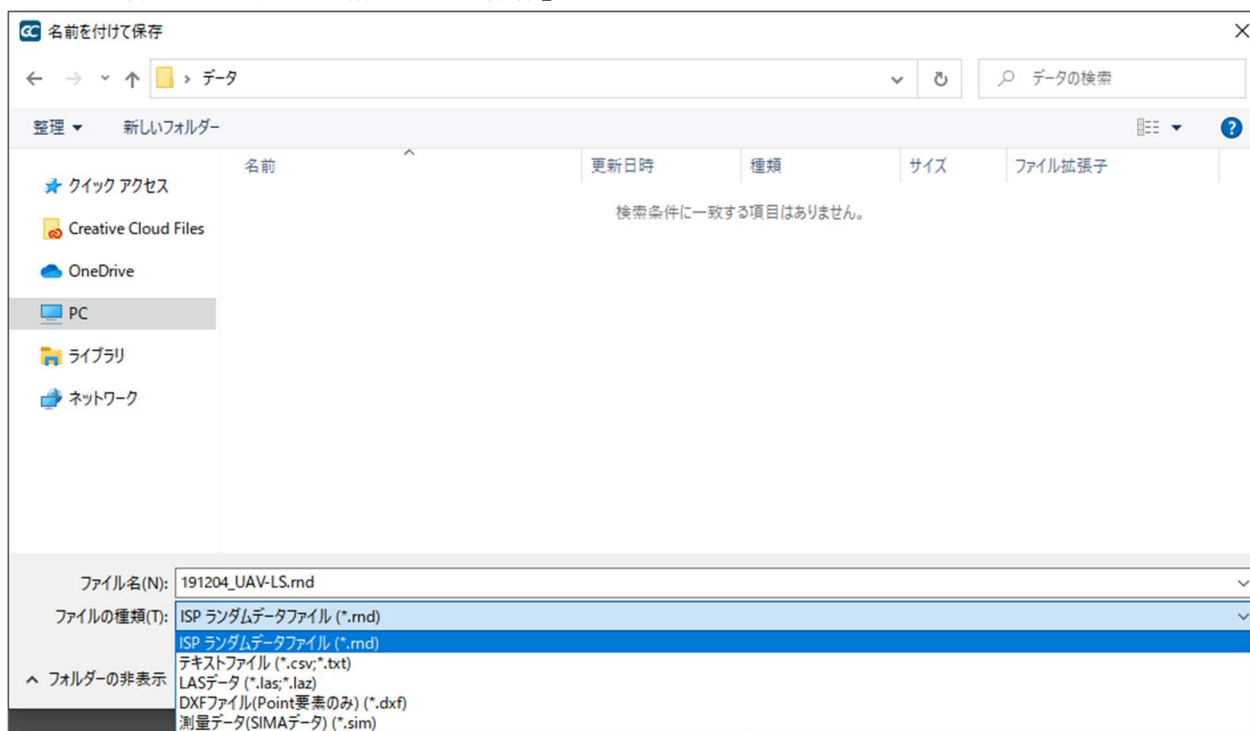
#### 5. 各データ形式へ出力

点群を各データ形式でエクスポートします。エクスポートは1レイヤ単位です。

※複数レイヤのデータを1ファイルにエクスポートする場合は、先にレイヤ合成が必要です。



ファイル名とデータ形式を指定して「保存」をクリックします。



# レイヤ操作について

各アイコン、設定メニューの内容についてはコマンドリファレンス（ヘルプ）も参照してください。  
以下では代表的な操作を解説します。

## ● レイヤ選択

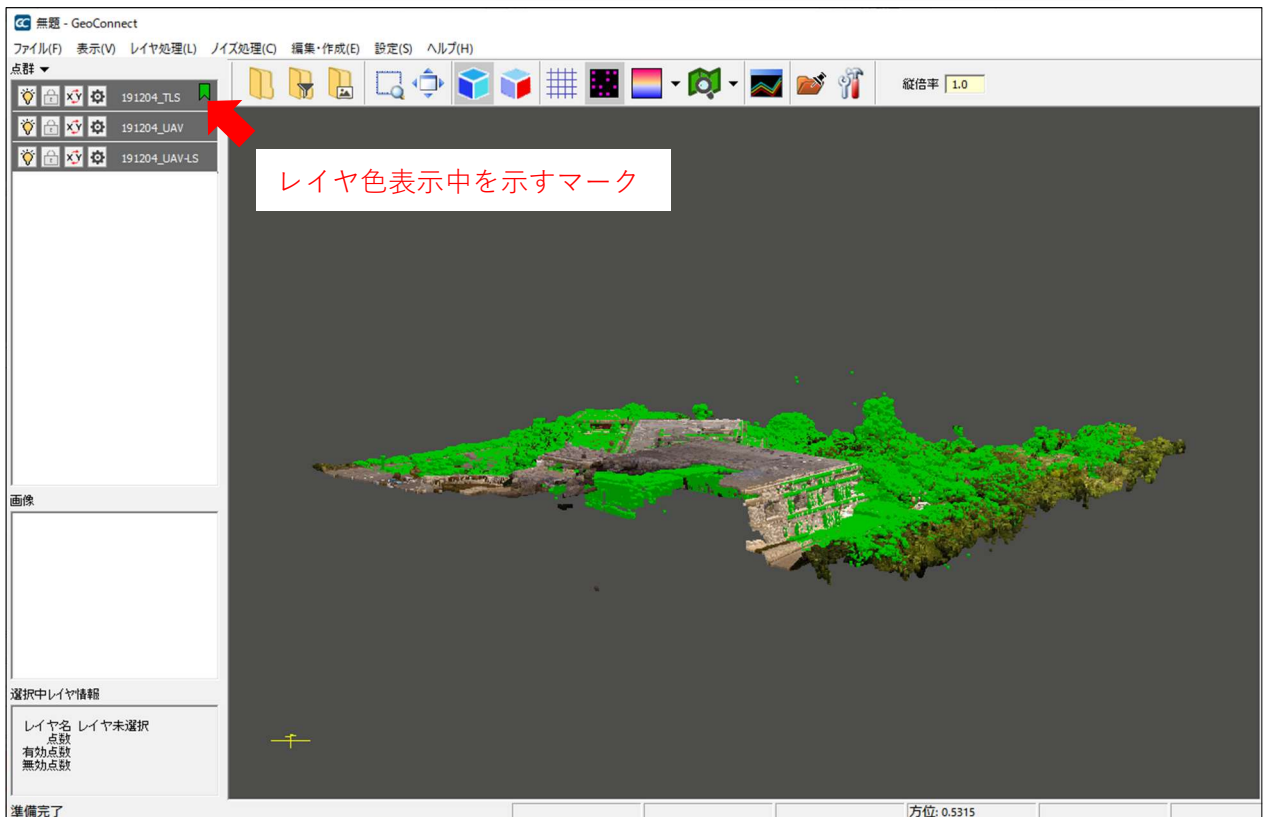
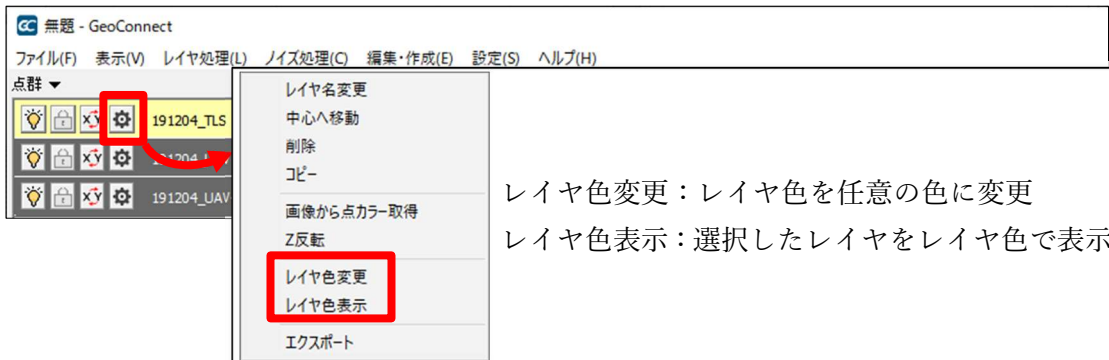
レイヤ名をクリックすると選択できます。「Ctrl」キー＋クリックで複数のレイヤを選択できます。



選択中のレイヤは黄色で表示されます。

## ● レイヤ色表示・変更

レイヤごとに点群を色分して表示します。



レイヤ色表示をしたところ

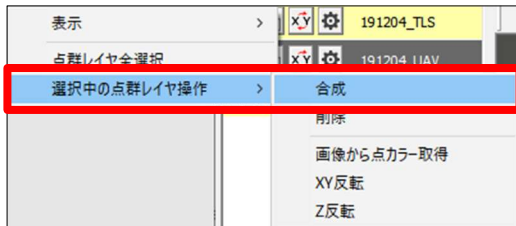
## ● レイヤ合成

複数のレイヤを合成して1つのレイヤにします。

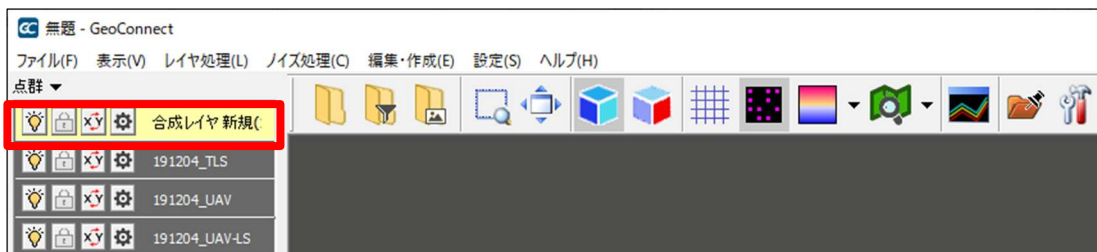
合成したいレイヤを複数選択した状態で点群メニューをクリックします。



表示されたメニューから「選択中の点群レイヤ操作」>「合成」をクリックします。



合成したレイヤはリストの最上部に作成されます。





# 各種表示機能について

## ● 3D表示

起動時は 2D 表示です。



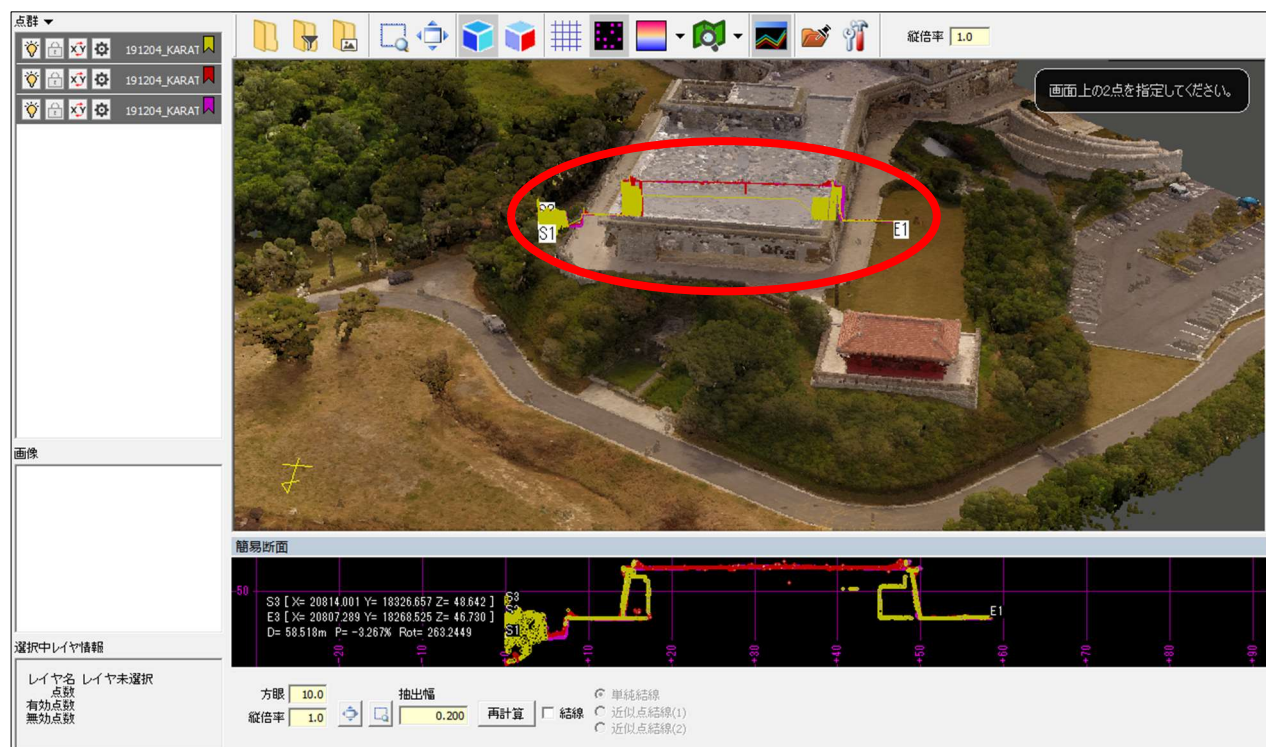
 : 3D 表示に切り替え

 : 側面表示に切り替え

3D 表示時のマウス・キーボード操作は、コマンドリファレンス（ヘルプ）を参照してください。

## ● 簡易断面表示

起点・終点の 2 点を指定し、断面を取得します。



断面表示をしたところ（断面はレイヤ色で表示されます）

## ● 点表示の種類

### 点カラー表示

点の RGB 情報で表示します。

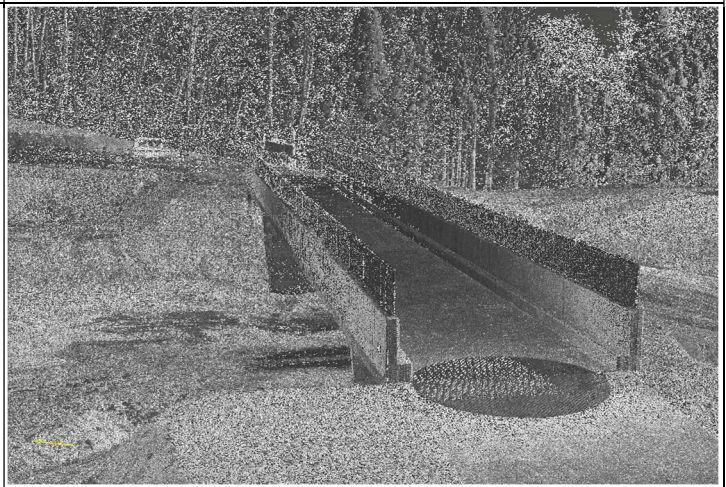
「表示」メニュー>「点カラー表示」



### 点受光強度表示

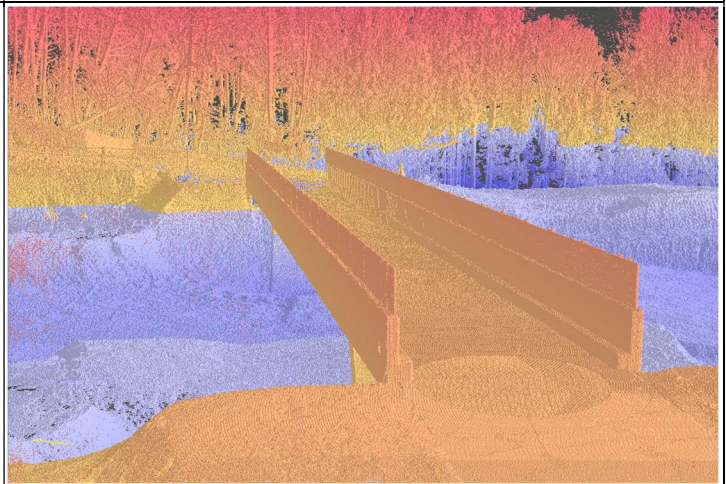
点の受光強度情報をモノトーンで表示します。

「表示」メニュー>「点受光強度表示」



### 段彩表示

標高又は受光強度の値によって色分け表示します。(右図は標高配色)



### レイヤ色表示

レイヤ色で色分け表示します。

p7 参照。

